

【様式1】

団体名 南城市立佐敷小学校	連絡先 TEL：098-947-6212 Eメール：sasho-kyoutou@edu.city.nanjo.okinawa.jp
------------------	--

1 実践事項 (②)

タイトル：「クロームブックを活用した教育活動の充実」

2 実践内容

本校では昨年度配備されたクロームブックを、様々な教科で活用している。昨年度から新型コロナウイルス感染症流行による休校を見据えて、オンラインで学習が行えるように準備してきた。

実際6月に、新型コロナウイルス感染症第4波による休校が発生した。その際には、5、6学年が先行してオンライン学習を実施した。

6学年については夏休み期間中も、担任が児童の発熱や体調に異常が無いか連絡を取っていた。

新型コロナウイルス感染症第5波により2学期の始業が遅れた際には、全学年学級でオンライン学習を実施した。体調管理はFormsを、家庭との連絡はストリームを活用した。その後の短縮日課の学習においても、密をさけるためにクラスルームを活用しオンライン授業を行った。以下に実践例をあげる。

- ① クラスルームの授業を活用した学習
 - ・ノートをカメラで撮って提出させる。
 - ・リコーダーの演奏、エイサーやダンスの演技などを動画に撮って提出させる。(宿題)
 - ・学習サイトを集め、自主学習に活用できるようにした。(ドリル学習、グーグルミュージックラボ、都道府県パズル、タイピング等)
- ② Googlemeetを活用した学習
 - ・教室でmeetを立ち上げ、教師側の資料を画面共有で提示した。(デジタル教科書等を提示)
 - ・meetをブレイクアウトルームとして使い、児童同士にグループ学習をさせた。
- ③ スライドやjamboardを活用した学習
 - ・1つのデータを元に、共同作業させた。

3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)



校内研修 (ICT)



Meetによるオンライン学習



教室内オンライン学習



高学年児童が低学年児童へ
使い方を教えている様子

4 成果

- ・全ての児童がオンライン学習に取り組む事が出来た。
- ・教師児童ともにICT活用能力が高まった。
- ・教師側に、日々の授業の中でICTを活用する力が身についた。
- ・各教科でクロームブックを活用して

5 課題

- ・家庭学習と連動したクロームブックの活用。
- ・新しく加わった教師児童の、ICT活用能力の育成。
- ・児童のICT活用能力が系統的に高まっていくように、年間指導計画に位置づける必要がある。
- ・meetやZoomなどを活用した、交流学习などを児童主体で計画できるようにしたい。